

した。私の家族にも「ないしょ」でしたので社員のびっくり様は大変でした。こんなに喜んでくれるなら毎年決行しようと又来年の「しこう」を今から楽しみにしています。これもそれもプログラム委員長の丸山さんの色々のアイデアのお陰と感謝しています。

梨本清一君 サヨウナラ、アリガトー1989

村山誠一君 楽しいクリスマスパーティー有難うございました。

石月雅司君 19日の大役を与えていただきありがとうございます。

阿部誠一郎君 前週の一口不足分

佐藤義英君 平成元年も無事過ごすことが出来ました。皆さんよいお年を!!

芦田義重君 馬場直次郎君の入会を記念して!!平成元年は平静に終わりました。来年も平静であります様に!!

原茂之君 大変お世話になりました。

目黒宣行君 先日のクリスマス例会、プログラム委員会、親睦委員会さんありがとうございました。家族に大変好評でした。我家にもすばらしいクリスマスプレゼントが来ました。

加藤実君 楽しいクリスマス親睦さん、ご苦労様でした。

山崎勲君 クリスマスパティーでの御協力ありがとうございました。72000円

卓 話：「1989年サヨナラ」今井克義君・原茂之君



あと5日と半日で、1989年も終わり、1990年となる。ぞくに10年ひと昔とよく言うが、感覚的には短い。時代の移り変りを考えると10年ひと昔は言葉通り。1979年、今から10年前、中国はソ連と友好条約を破棄し、アメリカと国交を結んだ。かたやソ連は例のアフガニスタンへの軍事介入がもとで、西側諸国からかなり非難を受けた年でもある。その結果、1980年モスクワオリンピックを日本、西ドイツ、アメリカがボイコットした。ところが10年後の今日、ゴルバチョフブームでソ連、アメリカは急速に接近し、中国は「天安門事件」で世界の非

難が集中した。産業の面でも10年前、夢の通信光ファイバーが現実のものとなった。いよいよこれからやって来る、1990年代は21世紀に向けての10年間。やっぱり1980年代とはいろんな意味で、違った10年間になるだろう。年月の経過とは時間が過ぎ去るだけでなく、やっぱり我々人間の考え方、価値観がいろいろ変わってくる。楽しみと言う事で私が1989年を振り返りつつ、来たるべく1990年の事を、いろいろ私なりに解説してお話しすれば、非常に素晴らしい事ですが残念ながら、私にはその知識も解説する能力もない。さいわいな事に先ほど幹事が「終り良ければ、全て良し」の原さんが来ています。原さんは三条市議会議員になって、2年と8ヶ月、私がここで下手な事をしゃべ

るよりは、原さんに一番身近な三条市について話していただいたらいかがでしょうか。では原さんよろしくお願いします。



不良会員の原です。おかげ様で2年と8ヶ月、当選をして子供が腹の中で6ヶ月。7月に生まれやっと2才半。毎日いない私を見ると「飲みに行け、いなくていい」と言われる。北ロータリーにも出席できず本当に申し訳ない。12月定例会もこの23日で無事に終わった。12月定例会とは、昭和63年度の決算議会という。決算が上提され我々審議機関である議員が、これを認定をする意味の議会。63年度一般会計においては200億円。特別会計170億円、合わせて370億円が63年度の決算で認定されました。それは、あくまでも63年度は、まだ特別会計の昭栄再開発の終わっていない時期だから、特別会計が膨れて昭栄再開発でも特別会計が100億円の予算、平成元年度では特別会計としては、あまり大きなものはない。その中で財政面の市民税。これは歳入といって、この前の新聞でも大蔵省、66兆2700億円。平成2年度三条市の予算も市民税を入れて予算を組み。だいたい200億円程度の一般会計予算が組まれる。これは地方自治体の一般会計の組み方としては、国が予算を決めないと地方交付税、国庫負担金、補助金関係が未確定のかたちの中での組み方しかできない。正式に66兆2700億円が決まると、内需が地方自治体に来る、それによって我々が仕事をするわけで、あくまでもその年度の基本となるのが市税。市税の中でも地方税「市民、たばこ税、所得税」所得税は還付されている訳だが、ガス、電気いろんなかたちで税が含まれてきている。ただ消費税になってから、それは（たばこ、ガス、電気）いったん国に吸収されてから、地方交付税として還付される。まだ三条も平成元年度の今、2年の予算を組んでいる訳だから決算の時期じゃないと、本当の金の出し入れが出来ない。平成2年の2月の総選挙の結果によっては、66兆がどういうかたちになるかもわからない。自民党が過半数をもって勝ったなら66兆は地方自治体に帰ってくるが、その逆で野党ならばこの予算はどうなるかわからない。この総選挙で地方自治体が予算を組み、それを執行できるかたちになる。三条市が何かあった場合に使える金が平成2年度において10億円。それが昭栄再開発、国民保健の一般会計の持出金が8億3000万円。実際には1億8000万円しかない。63年度の決算の中で1億7000万円を財帳に組入る事で、なんとか平成元年度の予算決算の中でも黒字になるだろう。三条市では、健全な財政が進められているが、国の諸策が違ってくると影響が一番受けるのが地方自治体です。三条市は特に補助金で工事をやっている、五大事業もそうだが、弥彦線高架などは特に100億円というかたちの中で平成5年度の完成をみる訳だが、それも、来年度県に要望を上げている16億円。しかし、どの位つくかわからないが……。それを付ければ約100%の用地買収が終る訳であります。昭栄再開発が先に計画されたのではなく、南北縦環道路が先に計画され、道路が完成しなければ、昭栄再開発も完成を見ない。という中で今年から昭栄橋の橋脚を発注し、平成3年完成予定だが、国の予算のつけ方次第で延びて